豊富町と包括連携協定 締結

酪農・温泉・湿原など地域資源豊かな同町と連携深める

豊富町との締結式にて。河田誠一町長（左）と西村宣彦開発研究所長（右）

2021年6月25日、本学は豊富町（宗谷管内）と包括連携協定を締結しました。学校法人として包括連携協定を結ぶ北海道を除くと、本学が包括連携協定を締結する地方公共団体は、北広島市、沼田町、釧路町に続き、4団体目です。豊富町では2019年4月に本学OBの河田誠一氏（1981年工学部土木工学科卒）が町長に就任し、同町と本学の連携を模索してきました。

協定締結式は、豊富町の定住支援センター「ふらっと☆きた」で執り行われ、大学側からは安酸敏眞学長の代理として出席した西村宣彦開発研究所長、上園昌武経済学部教授が臨席しました。

地域の持続可能な発展を探る

式典終了後は町の理事者らや幹部職員と意見交換を行い、翌日は町営の天然ガスプラント、大規模育成牧場、サロベツ湿原、建設中の大規模蓄電施設などを視察しました。

今後の取り組みについては、経済学部のフィールド系科目「地域研修」の実施や、同町の地域活性化やまちづくりに関する調査研究、合宿やインターンシップの受け入れ等、様々な分野で連携事業を検討していくことになりました。

豊富町は酪農が基幹産業の人口3,792人（2021年7月末現在）の小さな町ですが、国立公園に指定されたサロベツ湿原や、世界的に珍しい石油分を含む天然温泉など、一級の地域固有資源があり、また今は無住の日曹炭鉱地区や樺太アイヌが集団移住した稚咲内地区など、独自の歴史ストーリーを持つ町です。今回の協定締結を出発点に、本学と同町の交流が研究・教育両面で深められていくことが期待されます。

豊富町定住支援センター「ふらっと★きた」

豊富町関係者との意見交換会

北海学園大学学報
発行・編集　北海学園大学
札幌市豊平区旭町４丁目
１番40号　〒062-8605
☎011(841)1161　FAX 011(824)3141
https://www.hgu.jp/
gakuho@tyhr.hokkai-s-u.ac.jp
発行日（6月1日、9月1日、12月1日、3月15日）
購読料　1部80円　年間320円
制作・印刷　株式会社人力社
北海学園大学 学報 バックナンバー

主な記事

学長×副学長 鼎談 コロナ禍で見出した新しい大学像　2面
北海学園学術研究助成事業報告⑱ 工学部 船川大樹准教授　3面
新研究科長に聞く！　4面
特集 大学院生に聞く!! 「大学院で学ぶ」ということ。　5面
研究室を訪ねて④ 工学部 水谷武臣教授　7面
学生自治会主体で食糧支援　8面
法政大学法学部との単位互換学生交流（一期生インタビュー）　9面
入試インフォメーション　10面

訃報

学校法人北海学園 森本正夫理事長 逝去

最期まで北海学園の教育・研究、管理運営に情熱を注ぐ

令和3年6月1日、学校法人北海学園理事長、北海学園大学名誉教授である森本正夫先生が、病気療養中のところ、89歳にて逝去いたしました。生前のご厚誼に深謝し謹んでお知らせ申し上げます。

森本先生は昭和30年に本学経済学部を卒業後、北海道大学大学院農学研究科を修了。その後、本学及び本学大学院の教員として44年にわたり教鞭を執り、千人以上の学生が先生の薫陶を受けました。また昭和45年、38歳で本学園専務理事、昭和51年に理事長就任。およそ半世紀にわたって学園経営に携わり、今日の北海学園を築き上げてきました。

日本私立大学協会副会長、日本私立中学高等学校連合会副会長など多くの私学団体の要職を務め私学振興に尽力。文部科学省の私立大学審議会委員、北海道教育委員会委員など多くの公職にも就き、教育振興と発展に大きく貢献しました。またカナダ、中国、モンゴルなど海外との教育学術交流事業の推進にも力を注ぎました。

【略歴】
昭和6年10月3日生まれ。昭和30年北海学園大学経済学部経済学科卒業、昭和32年北海道大学大学院農学研究科農業経済学専攻修士課程修了、昭和45年北海学園大学経済学部教授・同大学院教授、学校法人北海学園理事就任、昭和51年学校法人北海学園理事長就任、平成3年北海学園北見大学（現北海商科大学）学長就任。日本私立大学協会副会長、同北海道支部長、日本私立中学高等学校連合会副会長、北海道私立中学高等学校協会会長、公益財団法人北海道高等学校奨学会会長、公益社団法人北海道私学退職金社団理事長、公益社団法人北海道私学振興基金協会理事長、北海道私学団体連合会議長、札幌市中央卸売市場開設運営協議会会長など

【受賞・受章】
平成7年藍綬褒章受章、平成16年旭日重光章受章、平成17年北海道功労賞受賞

学校法人北海学園 新理事長に安酸敏眞就任

学校法人北海学園は、令和3年6月8日に開催された理事会において、森本正夫理事長の逝去に伴う後任として、安酸敏眞北海学園大学学長を理事長に選出しました。理事長の就任日は、令和3年6月8日。北海学園大学学長との兼任となります。

【略歴】
昭和27年1月鳥取県米子市生まれ。昭和50年京都大学文学部哲学科基督教学専攻卒業、昭和52年京都大学大学院文学研究科宗教学専攻修士課程修了、昭和55年京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学、昭和60年米国ヴァンダービルト大学大学院宗教学専攻博士課程修了。Ph.D.（ヴァンダービルト大学大学院）、博士（文学）（京都大学大学院）。昭和62年盛岡大学文学部助教授、平成5年聖学院大学人文学部助教授、平成8年聖学院大学人文学部教授、平成16年北海学園大学人文学部、大学院文学研究科教授、平成22年北海学園大学人文学部長、平成29年北海学園大学学長、学校法人北海学園理事、令和3年学校法人北海学園理事長

故 森本正夫先生 お別れの会

7月10日、札幌ガーデンパレス2階鳳凰の間において、故森本正夫先生のお別れの会が執り行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のもと、式典等は行わず、参列者は白いカーネーションを受け取り入場、献花スタイルで実施されました。教育関係機関、財界、政界、そして学園関係者を含め、600人を超える方が参列。森本先生の遺影が掲げられた祭壇に献花しながら、在りし日の人柄と功績をしのびつつ、別れを惜しんでいました。

多くの方々にご参列いただきましたこと、深く感謝申し上げます。

Towards a New Paradigm for English Language Teaching
English for Specific Purposes in Asia and Beyond
寺内一・野口ジュディ・田地野彰 編
内藤永（経営学部教授）他共著
英語教育の新しいパラダイムへ。日本とアジアの英語教育の現状とさまざまなESPの実践と応用例を紹介する。
定価 £120
Routledge

シングルマザーの貧困はなぜ解消されないのか
「働いても貧困」の現実と支援の課題
中囿桐代（経済学部教授）著
日本のシングルマザーの就労率は非常に高いが、その貧困率は50%を超える。シングルマザーの労働実態と自立の難しさを面接調査等から明らかにし、就労支援策の課題を考える。
定価 四、四〇〇円（税込）
勁草書房

装いの心理学 整え飾るこころと行動
鈴木公啓 編著／田中勝則（経営学部准教授）他共著
化粧、衣服、ピアス、タトゥー、美容整形、ヘアスタイル、言葉、歩き方など多岐にわたる装いの特徴や意義を解説。コスプレや化粧療法といった分野のはたらきにも言及した装い研究の入門書。
定価 二、九七〇円（税込）
北大路書房

パーソナリティと個人差の心理学・再入門
ブレークスルーを生んだ14の研究
フィリップ・J・コー 編
中村菜々子・古谷嘉一郎（経営学部准教授）田中勝則（経営学部准教授）監訳
遺伝学や神経生理学の知見を加え飛躍的に多様になっているパーソナリティ、個人差心理学領域を切り開いた革新的な14の研究を取り上げ、選りすぐりに解説する。
定価 三、九六〇円（税込）
新曜社

都市科学事典
横浜国立大学都市科学部 編／小柳秀光（工学部教授）他共著
歴史、政治・経済、建築など都市に関わる多分野の専門知を体系化・再編成し、経験知と融合させて実践的に活かすための事典。10領域476項目、執筆者348名による「都市の知」の集大成。
定価 二七、五〇〇円（税込）
春風社

早稲田文学 二〇二一年春号
早稲田文学会 編／内田ゆず（工学部教授）他共著
特集「オノマトペにもぐる／オノマトペがひらく」。日々の会話、絵本やマンガ、音楽やマーケティング、教育や医療福祉などさまざまな場面で用いられるオノマトペ。その根幹と最新のすがたを探る。
定価 二四一〇円（税込）
早稲田文学

イテリメン語文法 ―動詞形態論を中心に―
小野智香子（工学部准教授）著
ロシア・カムチャツカ半島の先住民イテリメン族によって話されるイテリメン語。20年以上にわたって積み重ねたフィールド調査をもとに、この希少言語の文法を明らかにする。
定価 四、七三〇円（税込）
北海学園大学出版会

学長×副学長
鼎談

コロナ禍で見出した新しい大学像

「たくさん読んで、たくさん書く」教養教育の大切さを見直す

本学は今年度より副学長2名を設置することとなり、安酸敏眞学長が魚住純工学部教授と鈴木美佐子法学部教授を任命した（任期は2年）。設置の目的やコロナ禍での対応、今後のビジョンなどを聞いた。

魚住 純（うおずみ じゅん）副学長
（工学部教授）

鈴木美佐子（すずき みさこ）副学長
（法学部教授）

安酸敏眞（やすかた としまさ）学長

学長のエンジン役としての副学長

―副学長設置の目的と役割分担を教えてください。

安酸　本学は全学生数が約8300人という規模ですが、学長一人で統括するには非常に厳しいところがあります。学長に就任して1年目は一人体制でしたが、2年目からは各学部長、事務部の部課長、学長指名の教員で「学長室」という学長直轄の組織をつくり業務を分担してもらいました。そして4年目でようやく副学長設置が理事会で承認され、今年度、お二人の副学長を任命しました。

魚住　私は総務担当です。元々「学長室」のメンバーで、本学出版会、入試関係、知的財産権の取扱いなどの担当でした。4月からはそれらに加えて、大学のミッション・ビジョン、研究費等の見直し、国際交流関係なども担当しています。これらは、学長室内の担当ですが、その他どういう役割が出てくるかはこれからです。

鈴木　私は主に教学を担当します。具体的にはFD（Faculty Development）、SD（Staff Development）、また今年は認証評価を受けるのでそれに関する業務など、教育の質の保証に関わる仕事全般です。今は副学長と学長室に関する規程の改訂やガイダンスなど教務業務の検討をしているところです。副学長の役割は、学長がガバナンスを進めるためのエンジンになることだと思っています。

誰一人置いてきぼりにしない体制づくり
「孤独と自由」を受け止め人格形成を

もともと大学はモバイルだった

―コロナ禍で見えてきたこと、大学として一番大事にしてきたことは？

安酸　コロナ禍で大学はオンライン授業を導入し、そこで見えてきたことがあります。対面授業だと学生はだいたい教室の後ろの方から座り一方的に聞くだけでしたが、オンライン授業だと目の前に先生がいて学生はレスポンスを求められる。遠いけれど近いという逆説が成り立った。

　そこで改めて考えさせられたのは、大学の歴史を振り返ると、もともと大学はモバイルだった。つまり教師が移動すれば学生も移動し、一つの場所に固定されていなかったんです。一番大事なことは、教える資格と情熱を持った先生と、学びたいという意欲を持った学生が出会うことで初めて大学の学びが成立するということで、オンライン授業でも成り立つんだという再発見がありました。今はコロナ終息後も、対面とリモートをうまく組み合わせたハイブリッド授業がなされるべきと考えています。

魚住　工学部のリモート授業は教員により方法は異なりますが、総じてIT関係には強く、スムーズに進められたと思います。文系学部に比べて知識伝達型の講義が多いので、私の場合、アニメーション付きパワーポイントのオンデマンド動画にしました。学生たちには大方受け入れられたと思いますが、一方で、教員と顔を合わす機会がないためか、毎週の規則的な受講ができずに欠席が増えたりすることが何件か発生しました。そういった学生に対するサポートは、これからやっていかなくてはいけません。

鈴木　豊平の方でも、1年生のスタートでうまく大学の授業に乗れなかったり、休学を考えたりする学生がいました。一方で、順応力、適応力が高くてどんどん前に進んでいく学生もいます。特に今年の1年生は、高校3年のときにオンライン授業を経験しているので適応力が高く、ゼミのディベートや班の発表など、みんな普通のことのようにzoomやSNSを活用しています。一番困っているのは私の方ですが（笑）、これから強みになると思います。

魚住　スタートに乗り切れない学生は心配ですね。

鈴木　心配です。少人数なら気付くことができるので、1、2年次のゼミで、学生たちの様子を注意深く見ていきたいと思います。

魚住　工学部は文系のゼミのような授業がないので、学科によってはアカデミックアドバイザー制度を設けて、出席が不調な学生に対しては学科内で情報を共有して学生をサポートしています。そのような体制がこれからさらに必要になると思います。

自分で考える力を

―大学の4年間で学生に身につけてほしいことは何ですか？

安酸　社会に出てから求められるのは総合的な判断力です。専門的な知識と、それを支える幅広い教養を身につけてほしいと思います。

　以前、大学には教養部があり、どの学部でも基本的には教養的な科目を履修した上で専門教育を受ける仕組みになっていました。しかし、1991年の大学設置基準の大綱化で、軒並み教養部が廃止となった。これはアーリースペシャリゼーション（early specialization）といって、できるだけ早く専門教育に入るというもの。しかし学ぶ学生は基礎がないところに専門を学ぶので蛸壺型になってしまいます。オックスフォード大学やケンブリッジ大学では〝たくさん読んでたくさん書く〟ことを基本とした古典的な教育を行っていますが、我々はそれをほとんどしなくなった。そして大学は人格形成という重要な側面もあります。コロナ後は、改めて教養教育の大切さを考え、見直していかなければなりません。

鈴木　今、専門だけしかやらない蛸壺と仰いましたが、様々な教養科目を学ぶと、いろいろな見方ができるようになります。オンラインだけが全部の世界になってしまうのは非常に危険で、例えば、ワクチンを打つと遺伝子操作されるといったフェイクニュースを本気で信じてしまう現象も起きています。健全な懐疑心を持つことも教養だと思います。本学には教養教育を担当するいろんな分野の先生がたくさんいますので、私は教学担当の副学長として教養教育をもっと充実させていくと共に、学士力の向上、学生を置いてきぼりにしない学生支援と学生同士の支援などに力を注ぎたいと考えています。

魚住　工学部が扱う技術分野は今、いろんな方向に広く展開しているため、バックグラウンドになっている社会状況や考え方を理解しなければならない。つまり大学で教養をしっかり学ぶということがすごく大事なんです。できれば高校の時から理系と文系両科目の広い範囲をしっかり勉強してほしい。そして一番重要なのは「自分で考える」こと。これを大学でしっかり身につけてほしいと思います。

―最後に学生に一言お願いします。

安酸　人生というのはあらかじめ既定されているものではなく、自分で自分をつくっていかなければなりません。大学の4年間は極めて大事な期間です。いかようにも動くことができるので、自分で狭い枠にはめ込まないこと。そして、答えのないことに挑戦すること。これが研究ということの本質ですが、それと同時に、どういう人と出会い、どういう書物や思想と出会うかもとても大切です。良いものを読んで良いものが書けるよう挑戦してほしいと思います。

魚住　理系科目は答えがあるものを学んで行くことが多いのですが、なぜその答えが出てくるのかを自分の頭で考えることです。数学を使う問題であれば数学的論理とその背景にある物理的な意味の理解を深めて自ら結果を導いて本来の結果と照らし合わせるということが大切です。

鈴木　開発研究所の前に副学長室ができました。私は毎日そこにいますので、学生のみなさんはご意見ご要望、お褒めの言葉など（笑）ありましたら、ぜひお話しに来てください。最後になりましたが、コロナ禍の中で学生の皆さんは、状況をよく理解してしっかり協力してくださいました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

安酸　最後にひとつつけ加えますと、ベルリン大学創設者・フンボルトは教養理念の中で「孤独と自由」について語っています。まさに今、コロナ禍で自由が制約され、孤独になっている。しかしこの「孤独と自由」が人格形成にも通じてきます。群れてばかりいてはダメ、ひとりになって考え悩むことも人格形成の上で必要なことです。コロナはいずれ終息します。今、皆さんが経験している「孤独と自由」を今後の人生に生かしてほしいと思います。

教職員と学生有志がコロナ禍の学生をサポート

―コロナ禍で社会は大きく変わりました。大学でもリモート授業を導入し、学生は大学に来られない日が続きました。

安酸　お二人を選んだ理由として、一人は山鼻キャンパスにある工学部の声を反映してもらうために魚住先生を指名しました。もう一人は、コロナ禍で学生部長をされていた鈴木先生を選びました。学生部長在任中はいろんな事件や事故がありましたが、常に学生目線でいろいろなことを考えていただいて、責任感も強い。それに鈴木先生は、パワーがすごい！（笑）

副学長室設置〈豊平校舎4号館1階〉

今年度から副学長2名が任命され、豊平キャンパス4号館1階、開発研究所向かいに副学長室が新たに設置された。鈴木美佐子副学長が常駐する予定で、魚住純副学長は工学部の授業を行うため、山鼻キャンパスを拠点としつつ、毎週水曜日に在室する。

北海学園学術研究助成事業報告⑱

研究課題

スペクトル解析を用いたSplit-Step 量子ウォークの研究

工学部准教授　船川（ふなかわ） 大樹（だいじゅ）

SSQWにおける光子の極限分布を解明

本研究では、量子ウォークの中でも実現可能なスプリットステップ量子ウォーク（SSQW）の極限分布を、数学の一分野であるスペクトル散乱理論を用いて解明することを課題とした。

物体がふらふらと酔歩する描像はランダムウォークと呼ばれる数理モデルで記述される。例えば、コインを投げて表が出たら左に1歩、裏が出たら右に1歩だけ貴方は移動するとする。これがランダムウォークの一例である。この酔歩する物体が光子や電子などの量子である際、この酔歩の描像は量子ウォークと呼ばれるモデルで記述され、近年物理学や数学で様々な性質が解明されている。これは将来、量子コンピュータに必須な量子探索アルゴリズムや、絶縁体と電導体の両方の性質を持ち次世代の新素材として期待されるトポロジカル絶縁体の性質の解明などに役立つものである。

２００２年、横浜国立大学の今野紀雄氏によってアダマールウォークと呼ばれる量子ウォークにおいて、量子の極限分布が計算された。極限分布とは、量子が無限回酔歩をした際にどの場所にどれ程の確率で存在するかを明示するものであり、量子ウォークのモデル毎に異なる。アダマールウォークにおける極限分布は今野関数と呼ばれる関数を用いて記述される。さて、先述のコイン投げによって貴方がランダムウォークすると、コインを無限回投げた際には、貴方は初期位置にいる確率が一番高くなる。これは通常、ランダムウォークとは異なり、酔歩する物体が量子であることに起因する。２００２年以降多くのモデルにおいて量子ウォークの研究は成されてきたが、驚くべきことにそのほとんどの極限分布は今野関数で記述されている。

さて、２０１０年に北川拓也氏らによってSSQWは提唱された。このモデルは光子を酔歩させる量子ウォークであり、その場に留まる場合もある。さらに実際に光子ビームを用いた実験で実現可能なモデルでもある。本研究においては、このモデルの極限分布を計算した。しかしながら、SSQWは光子の位置に応じて酔歩の仕方が異なるため、これまでの量子ウォークにおける解析方法では完遂できなかった。そこでシュレディンガー方程式などの解析で使われるスペクトル散乱理論を用いることで解決するに至った。その結果、SSQWにおける極限分布は2種類の今野関数の和と差によって表現され、今野関数とはまた別の関数で記述されることが結論付けられた。これは、SSQW特有の『光子がその場に留まるという描像』に起因されると考えられる。

さらに近年では北海道大学の小布施秀明らによって、光子が実験系の外へ逃げてしまうためにエネルギーの保存が為されないモデルが提唱され、多くの研究者の興味を引いている。今後はSSQWでの研究の知見を活かし、このモデルにおける極限分布を明らかにしたい。

1988年静岡県生まれ。信州大学理学部卒業後、北海道大学大学院理学院にて修士課程、博士後期課程を修了。博士（理学）を取得。2018年より北海学園大学工学部講師、2020年より同大学准教授。研究テーマは量子ウォークや場の量子論のモデルにおけるスペクトルの解析。近年の研究業績は、Time operators for quantum walks, Lett. Math. Phys.110（9）2471-2490（2020）. Weak limit theorem for a one-dimensional split-step quantum walk, Roumaine Math. Pures Appl 59（2018）. Spectral analysis of an abstract pair interaction model, Hokkaido Math J（2018）.

トピックス64

83年前の土石流災害

人文学部講師　谷端（たにばた） 郷（ごう）

災害の惨状を伝える絵はがき

私は過去の災害（歴史災害と総称される）を地理学的なアプローチから研究している。地理学的なアプローチとは、被害の実態をなるべく地図化して、被害の地域差やその要因、そして背景を考察する研究である。私が学部生時代から取り組んできたのは、１９３８（昭和13）年7月に神戸市および阪神間に甚大に被害をもたらした「阪神大水害」である。この災害は「水害」と呼ばれているが、実態は今年7月に熱海で発生したものと同じ土石流災害であった。

神戸市および阪神間の市街地の背後には六甲山系（最高峰：９３１m）が横たわる。これらの山々の表層部分は主に花崗岩の風化層（マサ土と呼ばれる）からなり非常にもろい。ゆえに、ひとたび大雨が降ると斜面崩壊が発生しやすい。加えて、阪神大水害では山中に建設された道路沿いで斜面崩壊が多数みられた。この結果、崩落した土砂が登山客相手の茶店を押し潰したり、多量の水と一緒に土石流となって下流の市街地を襲ったりして大きな被害がでた。

当時の神戸市は第一次世界大戦中から活況を呈し始めた重化学工業化の波に乗り、都市化が急速に進行していた。この時期の都市化の担い手は新中間層と呼ばれる、いわゆるサラリーマンである。彼らの住まいが郊外へと延びることによって市街地が拡大し、さらに都市的な生活様式も成熟していった。たとえば余暇。余暇を過ごすための市民の憩いの場として注目を浴びたのが六甲山系で、大正末期から昭和初期にかけて山中にロープウェイやドライブウェイが急ピッチで建設されていった。なかには、昭和初期の恐慌後の緊急失業者対策事業として実施されたものもあった。これらの事業が入念な計画に基づいて行われたかは疑わしい。

土石流災害に限らず自然災害の発生要因の中には人為的な側面が程度の差はあれ必ず存在する。この点を背景も含めてあらゆる角度から検討し、短期、中期、長期様々なレベルの防災対策に活かしていかなければならない。その一助となるよう、これからも歴史災害研究に励む所存である。

北海学園大学同窓会（豊平会）

同窓会による奨学生認定証授与

同窓会（豊平会）は優秀な学業成績をあげたことが認められた学生19人を第1種奨学生として認定しました。

北海学園大学同窓会第１種奨学金給付学生

学部／学科	学年	氏名
経済学部／経済学科	4年	原田　和弥
経済学部／経済学科	2年	成田　椋亮
経済学部／地域経済学科	2年	青木美来里
経済学部／地域経済学科	3年	佐々木　凜
経営学部／経営学科	3年	齊藤　友音
経営学部／経営学科	3年	久保瑛理香
経営学部／経営情報学科	4年	三浦紗悠希
法　学　部／法律学科	4年	三浦　千咲
法　学　部／法律学科	3年	福島　龍誠
法　学　部／政治学科	4年	山崎　大地

学部／学科	学年	氏名
法　学　部／政治学科	4年	石神　貴騎
人文学部／日本文化学科	4年	高橋　駿太
人文学部／日本文化学科	4年	毛房　暖登
人文学部／英米文化学科	4年	渡邉　寧々
人文学部／英米文化学科	4年	齊藤　未羽
工　学　部／社会環境工学科	2年	島田　知
工　学　部／建築学科	3年	鳥谷部好葉
工　学　部／電子情報工学科	2年	藤井　翔大
工　学　部／生命工学科	4年	干場菜々香

教育振興会

教育振興資金による奨学金授与

教育振興会は奨学金B（「学業成績が特に優れている学生への奨学金」）を9人の学生に給付しました。教育振興会の趣旨に賛同する多くの方々からのご芳志により、今年も1人あたり30万円を給付することができました。

奨学金B給付学生

学部／学科	学年	氏名
経済学部／経済学科	4年	福井　亮
経済学部／経済学科	4年	谷口　凌
経営学部／経営学科	4年	大石　和恵
経営学部／経営情報学科	4年	櫻田ひより
法　学　部／法律学科	4年	阿部　勇人

学部／学科	学年	氏名
法　学　部／法律学科	4年	青柳　大夢
人文学部／日本文化学科	4年	鈴木　万葉
人文学部／英米文化学科	4年	高橋　美玖
工　学　部／建築学科	4年	内野　颯

研究室の窓

法学部准教授
鵜殿（うどの） 憩（けい）
（専門：哲学、倫理学）

認識的アクラシアの成立可能性

私は近代イギリス経験論哲学、とりわけデイヴィッド・ヒュームの認識論、道徳哲学の研究を専門としています。ヒュームの学問は哲学、政治学、経済学、歴史学など幅広い領域を網羅しています。ヒューム哲学の全体像を解明する研究の他に、ヒューム哲学のもたらす実践的含意にも関心があります。具体的には、現代哲学において議論される「認識的アクラシア」の成立可能性を、信念と情念の関係を巡るヒュームの理論を基に説明するという課題に取り組んでいます。認識的アクラシアとは、主体が正しい判断とは何かを知りつつ、非認知的な欲望のためにそれに反した信念を形成してしまう傾向を指します。この認識的判断のパラドクスに哲学的分析を与えることは、人間社会における複雑な現象を読み解くことに貢献します。

研究を進める際に、文化人類学、社会学、心理学等の異なる研究分野との学際研究の可能性を模索したいと考えています。

昨年以降、新型コロナウィルスの感染拡大により、人々の生活様式が大きく変わりました。大学の授業でオンライン授業が増えたのも、大きな変化です。コロナ下において、思い描いたキャンパスライフが送れないのは非常に不運な状況だと学生さんには思われるかもしれません。ここで、私は『道徳・政治・経済論集』という著作におけるヒュームの次のような言葉をお贈りしたいと思います―「人生における幸運や不運は私たちがどうにかできるものではない。しかし、自分がどのような本を読むか、どのような気晴らしをするか、どのような人間関係を維持するのかは完全に私たち次第である。…賢人は、自らの幸福を自分自身に依存する問題として位置づけるものだ」。ヒュームは自分の人生における幸福を外部的要因に左右されないことの重要性を説いています。

大学教員として私は、コロナ禍においても、学生さんが主体性を発揮し、知性を磨き、人生を切り開いていくのを全力で応援したいと思っています。

新型コロナウイルスワクチン大学拠点接種（職域接種）開始

８月30日、学校法人北海学園（北海学園大学・北海商科大学）における、大学拠点接種（職域接種）を開始した。本ワクチン接種は本学学生、教職員等約３４００人（希望者のみ）に対して接種を行う予定。

【実施期間】
1回目：8月30日～9月2日
2回目：9月27日～9月30日

株式会社 小鍛冶組から寄付金

５月31日、株式会社小鍛冶組の小鍛冶洋介代表取締役社長より、１３０万円の寄付金が贈られた。7月12日、安酸敏眞学長から、今回のご寄付を本学の教育及び学術研究力の向上に活用させていただくとの謝辞が伝えられ感謝状を贈呈した。

株式会社小鍛冶組 代表取締役社長 小鍛冶洋介氏（右）と安酸敏眞学長

訃報

元工学部教授　谷口（たにぐち） 博（ひろし）先生（90歳）が令和3年6月8日、元工学部教授で本学名誉教授の河口（かわぐち） 敏子先生（90歳）が令和3年7月21日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

谷口博先生《ご経歴》
昭和25年北海道大学予科修了、昭和28年同大学工学部機械工学科修了、三菱日本重工業（株）横浜造船所技師、昭和38年北海道大学工学助教授、昭和48年工学博士（北海道大学）、昭和54年北海道大学工学部教授、昭和60年中国浙江大学名誉教授、平成6年本学工学部教授、大学院工学研究科博士課程教授、「建築入門Ⅱ・建設工学特殊研究」など担当。平成13年3月退職。

河口敏子先生《ご経歴》
昭和29年北海道大学理学部数学科卒、昭和31年同大学大学院理学研究科修了（理学修士）、高等学校および本学非常勤講師を経て、昭和44年本学教養部講師、昭和45年助教授、昭和50年教養部教授、平成10年工学部教授。「微分積分学・線形代数学」など担当。平成12年3月退職。

新研究科長に聞く！

今年度就任した法学研究科長・鈴木光教授、法務研究科長・大西有二教授に、研究科の特色や抱負などを伺った。

多様な価値観と自由な発想を尊重

法学研究科長
鈴木 光（すずき ひかる）教授

―法学研究科の特色をお聞かせください。

鈴木教授　第一は、多様な価値観や自由な発想を尊重する研究環境があることです。法律学・政治学に関する古今東西のあらゆるテーマを、誰もが自由な視点から存分に探究することができます。第二は、知的探求心あふれる社会人に広く門戸を開いていることです。有職者や退職者が、長期履修制度と夜間講義を大いに活用し、研究に邁進しております。本研究科の在籍者の9割以上は社会人です。

―新法学研究科長としての抱負をお聞かせください。

鈴木　本研究科は、法律学・政治学の基礎領域に関する広く深い素養と高度な専門能力を有する人材を育成することと、および各方面の能力を陶冶し、以て人類社会に大きく貢献することを理念とし、昭和61年に設立されました。以来、一日たりとも休まず真摯な研究活動が続けられております。今後も、この崇高な設立理念を胸に、皆様が心おきなく研究に専念できるよう微力を尽くす所存です。

―法学研究科で特に力を入れてきた役割と成果についてお聞かせください。

鈴木　本研究科は、多様な価値観や自由な発想を尊重する研究環境を整えること、および社会人に広く門戸を開くことに力を入れております。設立以来、研究意欲にあふれる皆様に自由な学びの場を提供する役割を果たしてきました。この35年間に巣立ちました修士課程132名、博士（後期）課程14名は、国内外の各領域で立派に活躍しており、人類社会に大きく貢献していると自負しております。

―学生へのアドバイスをお聞かせください。

鈴木　学び直しは、いつでも何度でもできます。大学院に興味をお持ちの方は、お気軽に、法学研究科事務室へお問い合わせください。電話011-841-1161（内線2229）

―先生の休日の過ごし方や、趣味について差支えなければ教えてください。

鈴木　平日に終えられなかった仕事、研究、および運動などをしております。

司法試験合格に向け変わらぬ支援

法務研究科長
大西 有二（おおにし ゆうじ）教授

―法務研究科の特色をお聞かせください。

大西教授　元裁判官による模擬裁判や刑事訴訟法関連の講義、また、札幌弁護士会のご協力を得て実施されている、弁護士の皆さんによる多様な講義・演習の開講が重要な特色のひとつです。本法務研究科の最大の特色は、社会人のための夜間コース（長期履修課程）があることです。但し、夜間コースでは講義等の時間が制約されるため、法学未修者の場合、標準課程で修了まで3年のところ、夜間コースでは4年かかります。昼間コースでは標準課程2年、長期履修課程3年なので、夜間コースでは昼間コースより1年長い在籍が必要です。

―新法務研究科長としての抱負をお聞かせください。

大西　現在おられる在籍者2名が修了すれば、本研究科は閉鎖されることが確定しています。わたくしども法務研究科最後の仕事は、在籍者2名が当初の目標を早期に実現できるよう、できる限りの支援をすることです。それから司法試験合格をめざして勉強中の修了生5名に対しても、施設利用や学習面のサポートを引き続き行っていきます。

―法務研究科で特に力を入れている点やこれまで果たしてきた役割と成果についてお聞かせください。

大西　特に力を入れてきたのは、夜間コースでしか学習する機会のない社会人の皆様にその機会を提供し続けていることです。現在まで開学時と同数の専任教員、実務家教員合わせて12名を維持し続けていることは、特筆するに値することだと思います。これまでに北海学園大学卒業生3名を含む、多様なご経歴を持つ39名もの司法試験合格者を輩出していることは、われわれ教職員の大いなる誇りです。

―学生へのアドバイスを。

大西　成績を伸ばすためには、自分の得意・不得意分野、長所・短所を知り、得意分野・長所をいっそう伸ばすことが重要であり、そうすることができれば、自ずと不得意分野・短所も改善されてくることが期待できる、ということです。その際、本当に大切なことなのですが、一人で悩まないことです。本学の教員は全員、志のある在学生の悩みに対応できる用意のある方たちですので、どうか遠慮なく、そのドアを叩いて下さい。

―先生の休日の過ごし方や趣味は？

大西　ドライブしたり、お笑いや野球、サッカーを観るのが好きです。硬式テニス歴は25年ほどです。年齢のせいか、体が硬くなってきたのか、サーブが決まらなくなり始めていますが、ショットに磨きがかかってきました（笑）。

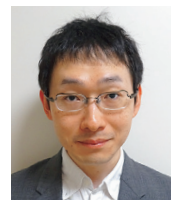
―大西教授のおすすめの本。

大西　学術的な図書でこれまで最良の本は、受験勉強中に知り、大学入学直後に購入・読破した思想史研究のバイブル、清水幾太郎『倫理学ノート』（1972年、岩波書店。新版：2000年、講談社学術文庫）です。行政法学では、遠藤博也『行政法Ⅱ各論』（1977年、青林書院新社）、『国家補償法上・中巻』（1981年、1984年、同）が私のバイブルです。

納税する天皇

未来展望

法学部講師
加藤 祐介（かとう ゆうすけ）



戦前の日本において、国家は皇室に対して税を課していなかった。これは大日本帝国憲法第二条「日本臣民は法律の定むる所に従ひ納税の義務を有す」に従い、「臣民」ではない天皇・皇族には納税の義務はないと観念されていたためである。加えて戦前においては、皇室は国家機構の一部であり、したがって皇室財産も国有財産とは区別されたもう一つの公的な財産であって、それに対して国家が課税することは無意味であるという法解釈が存在していたことも重要である。

占領改革と日本国憲法の制定によって、天皇はそれまでの主権者としての地位を失い、新たに国民が主権者となった。また戦前において皇室が所有していた莫大な財産は、多くの手順を踏んで国家の財産とされ、他方で国家が毎年の皇室費を支弁する仕組みが整えられた。皇室費には、皇室の公的な活動に充当される宮廷費、皇室の私的な活動に充当される内廷費、宮家皇族の私的な活動に充当される皇族費の区別が存在している。

戦後において、天皇・皇族に対する課税については原則的に国民一般と同様であるとされており、例えば私的経済行為によって所得が生じた場合には、天皇・皇族は所得税・住民税を納付する。また天皇・皇族が死去した場合には、相続税が賦課される。

一方で戦後においては、天皇権威の強化を志向する側から、天皇・皇族が納税義務を負うことに対する批判がたびたび提起されてきた。例えば衆議院議員の滝沢幸助（民社党）は、「陛下に税金を納めていただくということは日本の歴史的皇室というものの御存在からいうとなじまぬことである」と述べている（一九八九年六月一四日）。ここには戦前的な考え方の残滓が読み取れよう。

天皇・皇族への課税という問題には、国民主権原則や天皇の公私といった論点が凝縮されている。今後の議論の展開を注視していきたい。

（専門：歴史学）

人文学部
岡田一祐 講師

デジタルアーカイブ学会 第2回学会賞

4月23日に開催されたデジタルアーカイブ学会第6回研究大会において、本学人文学部・岡田一祐講師が、著書『ネット文化資源の読み方・作り方―図書館・自治体・研究者必携ガイド』（文学通信、2019）によって、第2回学会賞学術賞（著書）を受賞した。

▼岡田一祐講師のコメント

デジタル人文学に関するメールマガジン『人文情報学月報』での連載をまとめて一書としたもので、おもに日本文化にかかわる新たなデジタルアーカイブやデジタルを活用した取組みに注目してきました。

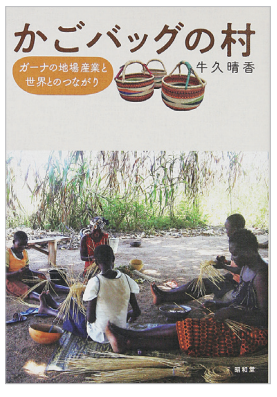
昨今、国文学研究資料館の「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」のように、代々伝えられてきた貴重な文化遺産をデジタル化した試みが増えており、そのような日本文化にかかわるデジタルアーカイブや、それらを活用した取組みは重要性を増しています。

本書が、そのような興味関心への手引きとなれば著者として大変喜ばしく思います。

【問合せ先】
岡田一祐 講師
e-mail: k-okada@hgu.jp
☎011-841-1161（代表）

経済学部
牛久晴香 講師

日本アフリカ学会 第33回研究奨励賞



5月22日～23日にオンラインで開催された日本アフリカ学会第58回学術大会にて、経済学部・牛久晴香講師の『かごバッグの村―ガーナの地場産業と世界とのつながり』（昭和堂、2020年）が、日本アフリカ学会第33回研究奨励賞を受賞した。この賞はアフリカ地域を研究する若手研究者の著作に贈られるもので、本書はアフリカ農村研究にとどまらず、開発学や人類学などを融合した学際的な学問分野や、国際協力の現場に貢献すると評価された。

▼牛久晴香講師のコメント

今回は、中尾世治さんのご著書と併せて、拙著『かごバッグの村―ガーナの地場産業と世界とのつながり』が選ばれました。本書はガーナ産の「かごバッグ」を切り口に、その生産や流通に関わるガーナの人びとがどのように開発援助や国際市場と向き合ってきたのかを明らかにした本です。フィールドワークに基づく学術書ですが、わかりやすくまとめることに努めました。今後も研究成果を広く発信するとともに、本学での教育活動に活かしていく所存です。奨励賞の名に恥じぬよう、いっそう研鑽を重ねてまいります。

東京2020オリンピック マラソン競技
8号館がボランティアの控え室に

8月7日早朝、8号館前に集まったオリンピックボランティアたち

7月21日から競技を開始した東京2020オリンピックが19日間に及ぶ日程を終え、8月8日に閉幕した。札幌市では、札幌ドームで男女サッカー一次ラウンド10試合をはじめ、8月5日、6日に競歩、7日、8日にマラソン競技が行われ、熱戦が繰り広げられた。

マラソン競技では豊平キャンパス前の平岸街道がコースとなり、本学は8号館4階の教室やトイレ、収納庫等を提供し、ボランティア（競技監視員・コース整理員及び監修誘導員）の控え室として使用された。

大学院生に聞く!! 「大学院で学ぶ」ということ。

本学大学院にはすべての学部を基礎とする５つの研究科「経済学研究科」「経営学研究科」「法学研究科」「文学研究科」「工学研究科」を設置しています。その特徴は、学部を卒業してさらなる探究心を持って進学する人だけでなく、高度職業人としてさらなるキャリアアップをめざす人、定年退職を機に、あるいは子育てを終えて新たな学びに挑戦する人など、様々な社会人にも広く門戸を開放しているところです。

様々なバックグラウンドを持った大学院生に、大学院での学びや研究についてお話を聞きました。あなたも、知の扉の向こう側に飛び込んでみませんか。

少人数教育と抜群の研究環境

他の大学院とはひと味違う独自のカリキュラム編成で、少人数教育を行います。また、院生一人ひとりに研究スペースを用意。豊平キャンパスは地下鉄直結で、研究環境は全国的にも高評価を得ています。

北海学園奨学金制度（給付）

学業成績等を考慮した選考のうえ、奨学金が給付されます。給付人数は、所属研究科・専攻等の在籍者数により変動します。

一般：年額 240,000 円、社会人特例：年額 120,000 円

キャリア支援

大学院修了後の就職は、キャリア支援センターが支援します。修了生は一般企業で、また公務員や教員として能力を発揮し活躍しています。

働きながら学ぶ大学院生を応援する制度

■社会人特例

働きながら大学院で学ぶ社会人を応援する制度です。

①授業時間は月曜から土曜の夜間開講時間。

17:50～19:20／19:30～21:00

②授業料等は一般受験入学者の約 1/2 に軽減。

※各研究科で多少異なる場合がありますので、受験先の研究科にお問い合わせください。

■長期履修制度

標準修業年限では履修が困難な社会人学生を対象に、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することで学位の取得を可能とする制度です。在学期間中の１年あたりの授業料の負担が軽減されます（総額は変わりません）。

・修士課程〈標準〉2年⇒〈長期履修〉3年

・博士（後期）課程〈標準〉3年⇒〈長期履修〉5年

Graduate School of Economics

経済学研究科

経済政策専攻
修士課程・博士（後期）課程

現代経済、地域経済・社会が抱える諸課題解決に貢献する人財育成

本研究科は、1970 年に本学初の大学院として開設して以降、今日まで、修士課程 205 名、博士課程 12 名、の修了生を輩出しています。本研究科では、経済学の理論・歴史・政策全般にわたる深い学識と研究能力を養い、現代経済や地域経済・社会が抱える諸課題の解決に貢献できる人財を育成することを目的とします。そのため、少人数による密度の高い教育を行うとともに、北海道大学大学院経済学院および同農学院などと単位互換協定を締結し、研究指導体制の充実を図っています。

院生 Voice

経済学研究科 経済政策専攻 修士課程 2 年

石倉 彩子　SAIKO ISHIKURA

研究テーマ

「給与所得」と「事業所得」の区分について

税法と経済学の幅広い知識を身につけるために

本学法学部を卒業し現在は税理士をめざして勉強中ですが、同時に大学院で経済学を学び幅広い知識を身につけようと経済学研究科に入学しました。講義は 1 ～ 3 人の少人数で行われます。事前に講義のレジュメを作成して論点、疑問点を明確にし、自分の意見を自分の言葉にして議論する。ここが難しくもあり面白くもあるところです。研究テーマは「給与所得」と「事業所得」の区分についてです。今までは自営業は事業所得、サラリーマンは給与所得とわかりやすい区分でしたが、サラリーマンの副業や働き方改革などでどんどん複雑になりました。この二つは所得金額を算定するうえで大きな違いがあるため、その判断基準の曖昧な部分を明確にしていきたいと考えています。

より深く学びたい、もう少し何か勉強してみたいという方はぜひ大学院で学んでほしいと思います。いろんな選択肢が増えますし、学習環境が良く、社会人の院生さんたちからもいろいろなお話を聞くことができます。

指導教員

経済学研究科
野口（のぐち） 剛（ごう） 教授

学びたい・知りたいに応える大学院

石倉さんは、技術革新や規制緩和などに起因する経済環境の変化によって所得税が直面しているいくつかの重要課題の 1 つをテーマに選定し、論文を執筆中です。このように、経済社会が直面している、またこれから直面しようとする課題に対し、学術的な接近を行うのが大学院の学びとなります。学部生でもっと学びたいという方はもちろん、一度社会に出てから大学院で学ぶという道もあります。

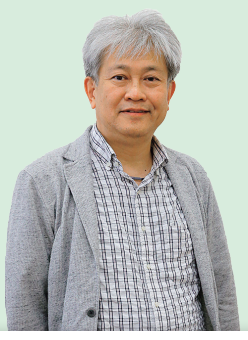
Graduate School of Business Administration

経営学研究科

経営学専攻
修士課程・博士（後期）課程

組織を取り巻く環境変化に対応する経営学の先端的研究

社会・経済・文化のグローバル化や新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりにより、企業など組織を取り巻く環境は大きく変化しています。本研究科では、これからの時代が求める広い領域の知識や技術と関心を合わせ持った「新しい専門家」「新しい研究者」を育成します。カリキュラムは「組織経営」「組織情報」「組織心理」の 3 分野で構成し、8 つの履修モデルを提示しています。本研究科は 2000 年に開設し、修士課程 121 名、博士課程 19 名の修了生を輩出しています。



院生 Voice

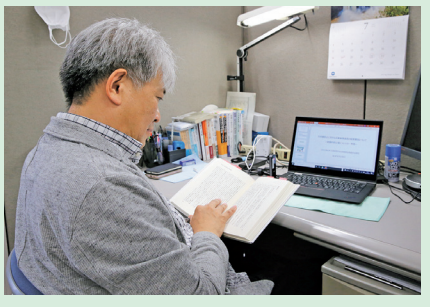
経営学研究科 経営学専攻 博士（後期）課程 2 年

保浦　聡　SATOSHI HOURA

日本アイ・ビー・エム デジタルサービス株式会社勤務
北海道情報大学非常勤講師

研究テーマ

実践的企業不祥事防止策の究明



共に学ぶ仲間を得たことは大きな財産です

勤務先の会社では主に経営管理の仕事に携わってきました。2017 年に北海道情報大学の非常勤講師の依頼があり、実務経験だけでなく大学院でもしっかり学びその知識を学生さんに還元しようと、大学院へ入りました。

研究テーマは、企業不祥事の防止策についてです。データ偽造など、防止対策をしっかり行っていそうな大手企業が不祥事を起こしている。それが不思議で、その理由を紐解いていき、本当に防ぐためにはどうしたらいいか、実践的に提言していくような論文に仕上げていく予定です。

大学院に来て、いろいろな専門分野の先生方と接点が持てたこと、そして一緒に学ぶ社会人の仲間ができたことは、私にとって大きな財産となりました。学習環境も良いし、大学側の受け入れ体制も良い。また、地元経済への貢献を積極的に考えて研究している先生が多く、地元で働き続けたい、地元に貢献したいという学部の学生さんたちにも、経営学研究科はおすすめです。

指導教員

経営学研究科
石嶋（いしじま） 芳臣（よしおみ） 教授

学問における「言葉」の大切さ

経営学は企業や組織のリアルな世界があって、その課題解決をどうするかという学問。保浦さんはまさに自身の経験を元に研究しています。学問は「言葉」が大切です。例えば、経営学で最初に学ぶバーナードの組織の定義の中に“forces”（諸力（しょりょく））という単語が出てきて、その意味を理解するのにみんな四苦八苦します。でも、それが学問の楽しみであり、論文へのステップとなります。

Graduate School of Law

法学研究科

法律学専攻・政治学専攻
修士課程・博士（後期）課程

現代社会の法的・政治的問題、地方自治の課題に挑む

いま大きな変化に直面している現代社会では、伝統的な思考では対処・解決できない様々な問題が発生しています。本研究科法律学専攻では現代法学の基礎的領域についての高度な研究を、政治学専攻では地域に根ざした民主主義を推進するために地域社会から国際社会まで幅広い政治現象に対する総合的分析能力、批判的検討能力を向上させ研究を進めます。また、北海道大学大学院や東北学院大学大学院と単位互換協定を結び、研究の充実を図っています。

院生 Voice

法学研究科 法律学専攻 博士（後期）課程３年
石田 真紀子　MAKIKO ISHIDA

研究テーマ
被疑者勾留の要件と勾留理由開示請求制度の研究―勾留からの回避をめざして―

研究したいという長年の思いを叶えています

本学法学部に在学中、ゼミの丸山治先生（現在法科大学院教授）から学ぶことの楽しさを教えていただき、いつか大学にもどって研究したいとずっと思っていました。そして仕事が一区切りし、家族の賛同を得て、2016年に大学院修士課程に進学しました。研究テーマは「被疑者勾留の要件と勾留理由開示請求制度の研究」です。逮捕されると72時間以内に勾留されるかどうかが決まり、被疑者勾留の場合は最長で23日、起訴されるとさらに２か月と長期に渡る場合があります。勾留は身体拘束の「入口」となることから、勾留手続が適切かつ健全に運用されるようグローバルスタンダードな視座に立ち、飯野先生のご指導のもとで研究を進めています。

今、社会は、コストパフォーマンスの高いものを求める傾向にあります。大学院での研究はそのような社会と一線を画した環境で行うことができる一方、自分の実績に見合う成果しか得られません。今後も社会人としての経験をいかしながら、誠実に研究と向き合っていきたいと思っています。

指導教員

法学研究科
飯野（いいの） 海彦（うみひこ） 教授

マンツーマン指導で実力アップ

法学研究科は社会人が多く、みな明確な目的を持って入学して熱心に学んでいます。一方、学部生にとって大学院はハードルが高いと思われがちですが、最初は自信がなくてもマンツーマンの指導により、着実に力は伸びてきます。修士課程の修了生は一般就職の道があります。博士課程で研究者への道を進むのも良いでしょう。ぜひ挑戦してみてください。

Graduate School of Letters

文学研究科

日本文化専攻・英米文化専攻
修士課程・博士（後期）課程

人間の営みを見る確かな眼。それは人生の羅針盤に

文学研究科は、北の大地を豊かな教育・研究の場として新しい人文学を創世し、世界へ発信することをめざしています。両専攻とも文学、言語学、思想を中心とする「言語・思想文化」と、歴史学、人類学を中心とする「歴史・環境文化」の２領域から構成されており、広い視野から「新しい人文学」の可能性を探っていきます。人間が人間であるとは何か、人間としてどうあるべきか、人間はどこに向かって進むべきか。人文学の学びは人生の羅針盤となるでしょう。

院生 Voice

文学研究科 日本文化専攻 修士課程２年
蟬塚 咲衣　SAKIE SEMIZUKA

研究テーマ
民俗芸能に関わる地域の記憶の可視化と継承

フィールドワークで現地の方の話を聞くのが大好きです

もともと学芸員志望で、学部時代は学芸員課程を履修し、奥尻島や礼文島、石巻市、新ひだか町での研修で発掘調査や文化財保護活動などを経験しました。なかでも奥尻島では青苗地区の祭礼に関して、島民の方々からの聞き取り調査にGIS（地理情報システム）を適用して「記憶地図」の作成や「祭礼情報の可視化」の研究を行いました。大学院ではこの研究をさらに深め、調査範囲を北海道全域に広げる予定で、最近は神楽や人形浄瑠璃など伝統芸能にも着目。今は博士課程への進学も視野に入れています。

成果を論文にまとめる際にはつらい思いをすることもありますが、フィールドワークで現地の方から直接お話を聞けるのが一番楽しく、そこからいろいろなことが見えてきます。奥尻島の祭礼は、それぞれのコミュニティで人々を束ねる一つの要素になっていますが、防災や災害復興の面でも注目されています。地域のために何ができるのか、どうすれば地域の歴史や文化を残すことができるのかを考えていくことに、大きなやりがいを感じます。

指導教員

文学研究科
手塚（てづか） 薫（かおる） 教授

長期的計画と広い視野で研究を

蟬塚さんは、学部生の時に出会った離島の民俗芸能に関心を持ち続け、現在は大学院で修士論文に取り組んでいる最中です。継続して研究できるだけの魅力を見つけられたのはとても幸せなことです。今は人生90年時代。本当にやりたい研究と目的があるなら、人生の５年程度を大学院に当てることは無駄ではないはずです。学芸員になることも含め、決して諦めず、長期的な計画と広い視野で将来を考えてほしいと思います。

Graduate School of Engineering

工学研究科

建設工学専攻
電子情報生命工学専攻
修士課程・博士（後期）課程

コロナ禍の今だからこそ求められる工学技術者

コロナ禍を経験した現代社会では、科学技術の果たす役割がますます重要となっています。建設工学専攻では、社会基盤工学や環境工学、建築学などの分野で、地域に根ざした研究課題に取り組み、持続可能な循環型社会形成推進を担う人材育成を目指します。また、電子情報生命工学専攻では、複合・重層化する電子制御工学、人間情報工学、生命環境テクノロジーなどの分野で柔軟な視点で新しい技術開発に取り組むことのできる人材養成をめざしています。

院生 Voice

工学研究科 電子情報生命工学専攻 修士課程２年
吉田　大　DAI YOSHIDA

研究テーマ
３次元地図を用いた目的地への自律走行

ロボット研究の経験を子どもたちに伝えたい

大学院ではカメラの画像を使って自律移動ロボットのための３次元環境地図を作製し、それを元にロボットを目的地までより効率的に自律走行させる研究を行っています。学部４年次の卒業研究ではセンサーによる２次元の環境地図を作製して自己位置の推定を行いましたが、より高度な研究をやりたくて大学院に進学しました。というのも私は高校教員をめざしており、大学院での研究成果や経験を、将来教壇に立った時、生徒たちに反映したいと考えているからです。

今は、画像データから障害物の特徴点を点群として計測し、その点群データから障害物と認識させているところです。試行錯誤の連続ですが、ゆくゆくは屋内の障害物を認識させて案内ロボットができればと考えています。

ここでは研究に取り組む意識を高く持ち、計画的に実行していかなければなりません。また、コロナ禍で大学に行けない時期もありましたが、自分の気持ちを強く持つことで、精神的に鍛えられたと思っています。

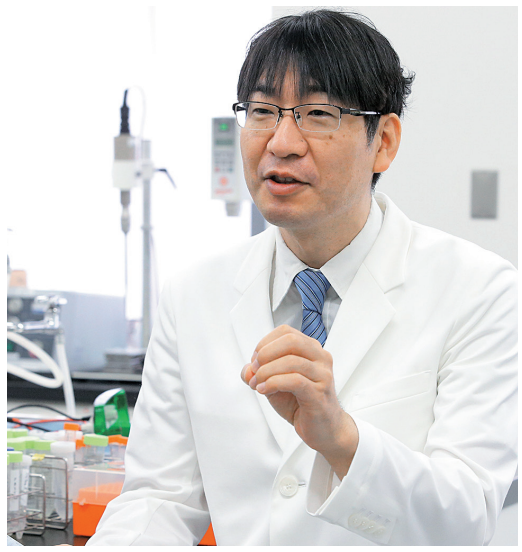
指導教員

工学研究科
高氏（たかうじ） 秀則（ひでのり） 教授

答えの見えない課題に挑戦

このテーマは先輩たちの前例がなく、吉田君が初めて取り組んでいる研究で、ロボットが動くところを見るのが楽しみです。学部４年次に卒業研究をやってみて興味をもった人、研究という答えが見えない課題にトライしたい人は、ぜひ大学院に進学してほしいと思います。大学院はマンツーマンの指導なので、卒業研究より、より深く詳しく学ぶことができます。

研究室を訪ねて Vol.04



工学部生命工学科

水谷 武臣（みずたに たけおみ） 教授

【生物物理学、細胞生物学、発生生物学】

北海道大学大学院理学研究科生物科学専攻博士課程。博士（理学）（北海道大学）。研究テーマは、細胞の力学計測法の開発とその医療応用に関する研究。

本学で活躍する専任教員の研究を、その人となりとともに紹介する連載企画「研究室を訪ねて」。四回目となる今回は、細胞生物学などを担当する工学部生命工学科の水谷武臣先生の登場です。

――水谷先生が研究者の道を志されたきっかけを教えてください。

水谷　実は私の父もセラミックスなど材料系の研究者だったんです。

子どもの頃にオープンキャンパスのような感じで父の研究所を訪ねて、「これが飛行機の部品になる素材なんだ」と教えられて、すごいな、と。研究者という仕事がごく身近に自然にあったんです。

それで大学では物理を学びたいと思って北海道大学に進みました。

――ご出身はどちらですか？

水谷　大阪です。北大を選んだのは、やっぱり「北の大地への憧れ」ですかね（笑）。実際に住んでみると、都会と自然のバランスが快適で、今に至ってます。学部では物理を専攻したんですが、ある講義で「生物物理学」という分野があることを知って、これは面白そうだと思って、大学院ではそちらの道に進むことにしました。

――「生物物理学」とはどういう学問なのでしょうか。

水谷　一言でいえば、「生物の仕組みを物理学の観点から考えていく」学問です。この分野が脚光を浴びたのは一九八〇年ごろ、「人間の筋肉が動くときには、アクチンやミオシンというたんぱく質からできた繊維が収縮している」ということがわかってからなんです。

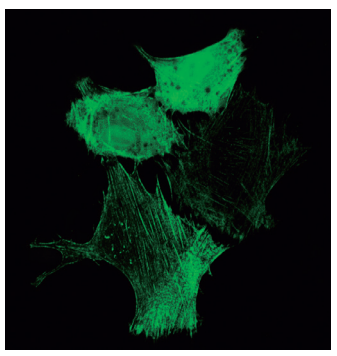
そこからタンパク質の立体構造がどう決まっていくかという分野も発展してきます。例えば、私たちの手や目がこういう形をしているのは、細胞たちがこういう形になるように運動しているからですよね。では、なぜ細胞たちがそう動けるのかというと、実はそのメカニズムがよくわかっていないんですね。車でいえば「エンジン」がアクチンやミオシンであることはわかったけど、動く方向を決める「ハンドル」が何であるかがよくわかっていないのです。

――「こっちへ動け」という信号が出ているのかと思ってました。

水谷　基本的なところはそうなんですが、それだけでは説明できないこともたくさんあるんです。そこで細胞にどのような「力」が働いて、どう動いているのかを物理学的に計測することで、そのメカニズムを解明しようというのが、私たちのアプローチになります。

――どうやって、細胞の「力」を計測するのでしょうか？

水谷　色んな方法がありますが、例えば培養皿にプルプルのゼリーのような下地を敷いて、その上に細胞を置く。細胞が動いていくと、その下地も引っ張られて変形しますよね。ごく大雑把にいうと、その変形の度合いを測定することで、そこに働いた力を測るわけです。



光らせた細胞の写真

どうやって「身体」ができるのか 物理学の視点で生命の神秘に迫る

究極の目標は「臓器を作る」

――今現在、取り組まれている研究はどのようなものでしょうか。

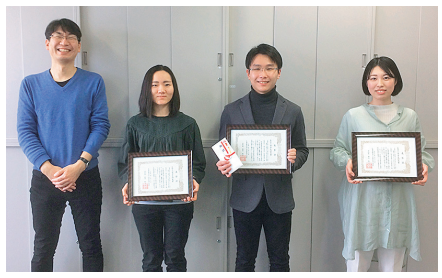
水谷　細胞が動くメカニズムを解明し、細胞の動きをコントロールすることで、狙った形の構造体を作れないかと考えています。究極的には、例えば京都大学の山中伸弥教授が発見したiPS細胞のような「万能細胞」を使って、心臓とか肺といった臓器のような三次元構造を作り出すことが目標です。もちろん、そこに至る道のりはとてつもなく遠いわけですが（苦笑）。

――そう考えると、細胞が自然と動いて心臓になり、人間の身体を作っているのはスゴいことですね。

水谷　そうなんです。DNAという塩基の情報だけから身体を作り上げて、しかも維持できている。本当に良くできているなあ、と思いますね。

イギリスの発生学者のウォルパートは「人生で最も大事な時は誕生でも、結婚でも、死でもなく、原腸陥入の瞬間だ」という言葉を残しています。原腸陥入とは、ヒトの発生過程で、細胞分裂を繰り返した胚が上下二層に分かれ、そのうち上の層の細胞の一部が下の層に落ち込んでいくことです。上層が神経や皮膚になる外肺葉、下層が消化器などになる内肺葉、落ち込んだ細胞が血液や筋肉となる中胚葉と役割が分化していく「ターニングポイント」なんです。

力学の観点から見ても、なぜそこが落ち込んでいくのか、もの凄く不思議だし、まさに「生命の神秘」としかいいようがないです。



生命工学科の３年生３名が北海学園大学「2019年度生命工学学生研究賞」を受賞

――最後に学生の皆さんにメッセージをお願いします。

大学での四年間というのは長いようで、本気で何かを身につけようと思ったら実に短いんです。ボンヤリしていると、あっという間に過ぎて、いざ就職活動で「自己アピールを」と言われても、「アルバイトしてました」という経験しかなかったりする。それはもったいないと思うんですね。

何か自分なりに四年間頑張ったと言えることを見つけるために、僕ら教員が力を貸せることもある。例えばコロナ禍になる前には、学科の二年生を対象に「実験が好きな人」を集めて、「サイエンスインカレ」（文科省主催の学生の自主研究発表イベント）にチャレンジしました。そういうときは、やっぱりみんな眼が輝いてます。

そういう瞬間を四年間でどれだけ積み重ねていけるかが、大学生活においては大事だと思います。

水谷先生のプチ解説　iPS細胞の現在地

2006年に山中伸弥先生がマウスの体細胞に4つの遺伝子を導入することで体内の幾種もの細胞へと分化可能なiPS細胞を作成したと発表した。後に、ヒトにも応用可能であることが示され、iPS細胞は、①再生医療、②創薬や病理解明のためのモデル実験系の構築、などの夢のある可能性を提示している。①に関しては、患者本人の細胞からiPS細胞を作ると時間とコストがかさむため、予め安全性の高いiPS細胞をストックしておき、それを患者に用いる戦略が進められている。②に関して、このコロナ禍では、培養皿上で肺のモデル組織を構築し、そこにコロナウイルスを感染させる展開もみられている。これにより、幾種もの治療薬の候補を人的なリスクを回避して試すことが出来るし、重症化した人と無症状の人からのiPS細胞を用いることで、両者の違いを調べることも可能になる。夢のあるiPS細胞の研究からこれからも目を離せないだろう。

第25回 人文学の挑戦 オンライン開催

人文学部は7月25日、教員の研究成果を広く社会に還元するイベント「人文学の挑戦」をオンラインで開催し、書籍『世界遺産とは何か？ さまざまな「物語」を読み解く』を執筆した2人の教員が講演した。初めに柴田崇教授が、ベルギーの世界遺産「プランタン＝モレトゥスの家屋・工房・博物館とその関連施設」を取り上げ、活版印刷技術が世界史の中で果たした役割を解説。続いて鈴木英之教授が日本の世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」について、厳格なキリスト教信仰ではなく、仏教や神道との習合（シンクレティズム）の可能性を説明した。

経済学部オンライン講演会

経済学部は5月15日、本学客員教授で一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山浩先生による「田園回帰と循環型社会の時代」と題したオンライン講演会を実施した。

本学客員教授・一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長 藤山浩先生

田園回帰と循環型社会の時代

「大規模・集中・グローバル」を推し進め一極集中となった東京は高齢化が進み、持続可能な社会とはほど遠い状況にある。そして、コロナ危機。藤山先生は「今のままでは大都市を中心に大量失業も生まれかねない」と危機感をあらわにし、今後の循環型社会の先行投資として、資源豊かな地方から持続可能な仕組みづくりの必要性を訴えた。

藤山先生の研究所では毎年、全国の市町村の人口分析調査を行っており、5年程前から、離島や山間部の縁辺性の高い小規模町村で人口増加が見られるという。その要因は「地域づくりにある」として、森林のまち北海道下川町の事例を紹介した。

さらに、地方の所得をあげるための経済循環として、地産地消や交通のシェアリングを推奨。「例えば、地方都市郊外にある全国チェーン店で使ったお金は、地域を素通りして大都市（域外）に流れていくが、毎年（域外流出の）1％でいいから地元での仕入れや地元産利用率を上げれば、域内所得を1％取り戻せる」と説明した。「まずは小さな地元で回せるものを回し、必要な拠点や仕組みをつくる。足りない部分は地方都市間で補完し合う。こうした幾重もの循環圏を本格的に形成していかなければならない」と強調した。

自著を語る 26

人文学部教授

大森 一輝（おおもり かずてる）

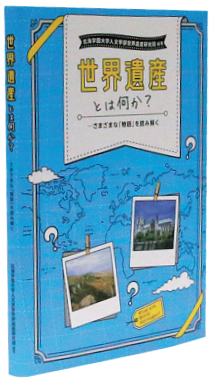
人文学の視点から見た「世界遺産」 ――その意義を主体的に受けとめる

『世界遺産とは何か――さまざまな「物語」を読み解く』（マイナビ出版、2020年）は、2018―19年度にかけて北海学園大学の学術研究助成（総合研究）を受け、人文学部の教員8名がNPO法人世界遺産アカデミー・主任研究員の宮澤光さんの協力を得て行った共同作業の成果です。本書は、地域的にも時代的にも分野・方法的にも、人文学部の教員の多様性を如実に表すものであると同時に、その「違い」が相互作用を引き起こした結果、世界遺産を単純に素晴らしいものとみなすのではなく、その意義を立体的に見直すためのガイドブックになっていると自負しています。

世界遺産の候補はどのように選ばれるのか、世界遺産になるための申請書類では／なった後の紹介ではどのような魅力が強調されるのか、それ以外に知るべきことはないのか、など、世界遺産の光と影に踏み込むことで、各章で扱う遺産それぞれが持つ「顕著な普遍的価値」をより深く理解できるようになっています。

世界遺産は、登録されればそれで終わり、というものではありません。保護・継承すべき人類の共有財産なのですから、私たちも、ありがたがって見るだけではなく、地域住民あるいは観光客として、その価値を見極め、遺されているものを守り、時代に即してその意味を再解釈しつつ、次の世代に受け渡す役割の一端を担っています。本書では、たとえば、先ごろ登録された日本でいちばん新しい世界遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」を第2章で取り上げ、縄文文化の全体像を知り伝えるために北海道に住む私たちがこの遺産をどのように活用できるのかについて、詳しく論じています。

高校生にも読んでもらえるようにわかりやすく書いたつもりです。この本が、多くの人にとって、自分には何ができるのか、何をすべきなのかを考える手がかりになってくれれば、研究代表者としてこれに勝る喜びはありません。



『世界遺産とは何か
さまざまな「物語」を読み解く』
マイナビ出版 2020年

学生自治会主体で食糧支援

コロナ禍でアルバイトの機会を逸した大学生が困窮し、全国の大学や地域で食糧や生活物資の提供が行われている。本学でも、2020年12月25日に教員有志で開催された「食糧支援プロジェクト（以下、食糧支援）」を皮切りに、教職員有志、学生自治会、大学生協が連携して第5回の支援を7月22、23日に終えたところである（来場学生は累計で2651人）。本学の特徴は、学生自治会が主体となって食糧支援を実施している点だ。労働経済が専門の経済学部・川村雅則教授が、学生自治会代表の山口和さん（Ⅰ部）、阿部航也さん（Ⅱ部）に学生の現状や企画にのぞむ思いなどを聞いた。

7月22日、23日の二日間にわたり、学生自治会が中心となって第５回食糧支援が開催され、500人超の学生が来場した。

Ⅱ部学生自治会執行部
代表 阿部（あべ） 航也（こうや）
人文学部
日本文化学科３年

Ⅰ部学生自治会執行部
代表 山口和（やまぐちやまと）
法学部
政治学科３年

経済学部教授
川村（かわむら） 雅則（まさのり）

食糧支援を通じた自治の模索

―コロナ禍でアルバイトができずに大学生の生活困窮、休退学のおそれが報じられました。２年目の現状はどうでしょうか。

山口　飲食店で働いている友だちがいますが、時短営業で出勤回数が減り以前のような収入が得られていないなど、状況は改善されていないと思います。

阿部　１、２年生の話を聞くと、アルバイトに採用されたけれど、思うようにシフトに入れずに事実上働けていなかったり、辞めるケースもあるようです。

―初回の食糧支援に来場した阿部くんが学生自治会による主催を希望し、現在のかたちになりました。ただ、実は葛藤もありました。本来、我々教職員こそが学生の支援に奔走すべきところを、学生自治会が主催するのはおかしくないかと。しかし、学生による主体的な大学づくりの契機にもなるし、我々教職員は黒子役に徹して皆さんを支援しようと決めました。

阿部　僕は大学生たるものは自由とか自立が大事だと思っています。ですから大学側や先生たちが開催してくださるのは有り難いですが、学生が受け身というのは好ましくないのではという思いがありました。自治会は学生から集めたお金を学生に還元する団体なので、何かできることはないかと考え、食糧支援を申し出ました。それまでの自治会の活動は、どちらかというとイベントサークル的な活動がほとんどでした。

山口　Ⅰ部自治会も同じで、開催予定のイベントが全てコロナでなくなって学生にどう還元するかと考えていたところ、阿部さんから声をかけてもらった。おかげで自治会の認知度がだいぶ上がったと思いますし、じつはⅠ部とⅡ部の自治会が共同で活動するのはおそらく初めてなんですよね。

―食糧の発注や会場設営など、大方は皆さんでできるようになりましたね。会場の提供や職員の参加など大学生協にも全面的なご協力をいただいています。

阿部　やはり企画段階が結構大変で、課題もたくさんあります。回を重ねるごとにスタッフが増えて仕事を分担できるようになったのはよいのですが、その分、連絡調整に苦労しています。

山口　支援当日の要員にはなれても、当日までの作業が大変なことを当初は理解できていませんでした。今は生協学生委員会 G-staff メンバーも運営に参加してくれています。こういう関係性は、今後もぜひ後輩に引き継いでいって欲しいですね。

―教職員からの寄付に加え、同窓会や学外からたくさんのご寄付、ご支援をいただいています。

阿部　自治体や企業、そして、報道機関にもご協力をいただいています。十分な対応がまだまだできていませんが、御礼の気持ちをしっかり伝えていきたいです。

山口　学外からのご支援を重く受け止め、僕ら自身も外に出て行って関係を深めていけたらと思っています。

―食糧支援の今後の展開や、大学生の経済的な困窮の問題への対策を何か考えていますか。

阿部　食糧支援に際して、学生へのアンケート調査を行いました。学費を下げて欲しいとか、学生支援金５万円を今年度も支給して欲しいという声が聞かれました。こうした学生の声を我々自治会が大学に届けなければと思っています。

山口　他大学での支援活動の情報なども集められたらと考えています。いずれ僕たちは卒業しますので、あとは後輩に託して、コロナが終わっても学生支援を続けて欲しいです。

―最後に一言お願いします。

山口　活動が活発になってきたのに対してⅠ部自治会もⅡ部自治会も人手不足で、会員大募集中です！　こうした食糧支援がなかったら、自治会同士の交流も、先生たちとの交流もありませんでした。こんな時代だからこそ、交流を大事にしたいと思います。

阿部　僕も、コロナ禍の自粛等で人と人との関係が希薄になっている一方で、こうした新たなつながりができたことがすごく面白いなと感じています。

―学生同士の交流促進や大学づくりへの学生の参加も展望したいですね。まだまだ厳しい状況が続きますが、一緒に頑張りましょう。

余市のワイナリー「登醸造」のぶどう畑にて。登醸造代表・小西史明さん（右）と本学OBで余市町職員の中山達郎さん

地域の現場から　余市町　仁木町

余市町と仁木町は平成27年から連携して「余市・仁木ワインツーリズムプロジェクト」を立ち上げ、ぶどうとワインを通じたまちづくりに取り組んでいる。近年「日本ワイン」ブームが沸き起こるなか、道内外からも熱い視線が注がれている。

「余市はすごいんです。〝余市は日本のブルゴーニュ〟と我々は勝手に言ってます（笑）」

こう話すのは、余市のワイナリー「登醸造」代表の小西史明さん。秋田生まれの小西さんは東京での会社勤めを経て余市に移住してきた。離農する農家から果樹園1・9㌶を引き継ぎ、2011年から自社農園としてワイン用ぶどう（ツヴァイゲルト種）の栽培を開始。約８割を他のワイナリーへ出荷し、残りは自家醸造のロゼワイン＝右下写真＝となる。

「余市は三方を山に囲まれ北側が海。６月の気候は安定し、夏秋も強い風は吹かない。冬は雪が（樹木の）布団となって凍らない。こんなに雪の多いワイン産地は世界でも珍しい。まさに選ばれた土地ですよ」と、小西さんはぶどう畑を見渡す。

「余市のワイナリーの多くは町外から来られた方です。現在、余市で13件、仁木町で５件のワイナリーがあります」と説明するのは、本学ＯＢで余市町経済部農林水産課の中山達郎さん。町の職員としてプロジェクトの事務局を担当している。

余市・仁木でワイン用ぶどうの栽培が始まったのは昭和50年代。生産者たちが試行錯誤を重ね日本を代表するぶどうの産地となるが、ほとんどを大手メーカーや他ワイナリーの原料として出荷していた。そこで原料生産から６次産業までをめざしてワイン産業の振興を目的に始めたのがこのプロジェクト。

「行政の仕事は、補助金を出したり、新規就農の相談対応、農業系融資の手続き、ワイナリー視察の対応、コロナ以前はイベントも開催していました。少しでも地域の人の役に立てるよう様々な人から意見を聞きながら日々、事業に取り組んでいます」。

ワインの出来はぶどうで８割が決まるといわれており、余市、仁木のワイナリーでもそれぞれのこだわりを持って栽培している。町内には地元のワインを飲めるレストランやホテル、販売店が増えてきた。

「町民のワイン消費をもっと増やしたいですね。余市には野菜や海産物など美味しい食材がたくさんあるので、ワイン産業と他の産業とのマリアージュをもっと発展させていきたい。可能性はまだまだあります」。

余市・仁木ワインツーリズムプロジェクト

めざすはワインと他産業とのマリアージュ

Message from OB

余市町経済部農林水産課
農政振興係長（兼）産業連携推進係長
中山（なかやま） 達郎（たつろう）さん
経済学部経済学科
平成22年度卒・58期生

去年、北海学園大学の地域研修を受け入れ後輩たちにお会いしましたが、みんな優秀で驚きました。地方公務員は若いうちからいろいろなプロジェクトに関わることができるのが魅力です。ぜひ皆さんも地域に来て活躍してほしいと思います。

余市町 HP（ワイン用）　仁木町 HP（ワイン用）

建築学科OB 青木（あおき） 弘司（こうじ）さん
平成 12 年度卒・30 期生
（米田浩志研究室出身）

東京建築士会主催「住宅建築賞2021」入賞

住宅建築賞 2021 受賞作品
「相模原の家」
青木弘司＋岡澤創太＋角川雄太＋高橋優太
（合同会社 AAOAA 一級建築士事務所）

住宅建築賞 2021 入賞作品集

青木さんの事務所のホームページ

本学建築学科の卒業生で建築家の青木弘司さんが、東京建築士会主催「住宅建築賞2021」を受賞した。

この賞は新人建築家の登竜門として知名度が高く、日本を代表する若手建築家の一人として今後の活躍が期待されている。青木さんにお話をきいた。

―受賞の感想をお聞かせください。

「この賞は私の師匠である藤本壮介さんや敬愛する建築家の方々が受賞しており、（今回の受賞は）非常にありがたく、嬉しく思うと同時に身が引き締まる思いで、さらに頑張ろうと決意を新たにしたところです」

―受賞作品「相模原の家」のコンセプトは？

「我々建築家は、一般的な建物との差別化を図り先鋭的なデザインを世に問うことがモチベーションになることがありますが、一方で私は普段から見慣れた日常の風景の中に、新たな価値や建築の新しいデザインを導き出すヒントが潜んでいるのでは、と考えています。「相模原の家」は、あえて日常の風景に歩み寄るデザインにしました」

―今回は20分の１の模型だけで検討を重ねたと伺いました。

日常から新たな価値を見出す

「普段は10分の1や50分の1などいろんな縮尺の模型を作って検討するんですが、20分の1の模型では、こだわりたい細部が再現できません。どことなく野暮ったくなったり見慣れた建物に近づいてしまうんですが、それを受け入れ、洗練されたデザインと融合させて形になったのが「相模原の家」で、このスタンスが評価されたと思います」

―大学時代を振り返っていただけますか。

「入学して1年目は何の目的もなくアルバイトばかりしていました。でも2年生になって、現役の建築家が講師として来てくれる設計製図の授業で、初めて建築の面白さに触れたんです。それからは、なりふり構わず建築の勉強に没頭しましたね。そして米田浩志先生の存在も大きくて、絶対否定せず、どんな状況でも背中を押してくれたおかげで頑張ることができた。あの経験が今の自分をつくってくれたと思っています」

―後輩たちにメッセージを。

「コロナ禍でリモート授業になるなど不自由な状況が続いていますが、こういう状況は今だけで、来年にはもう改善されているかもしれない。そう考えると、こういう時代と向き合いながら建築を学んだことは、社会に出たときに全く新しいモチベーションになると思います。悲観的に考えず、今はチャンスなんだとポジティブに捉えてほしい。北海学園の創作環境はすごく恵まれているので、誇りを持って学んでほしいと思います。そして、建築家として設計の仕事をやっていきたいのなら、とにかく「続けること」しかないと思う。そうすれば必ず、自分が思い描いている生き方をつかみ取ることができると思います」

交流学生一期生 INTERVIEW

法政大学法学部との単位互換学生交流　2020年度からスタート

国内留学で広がる学びの可能性

本学と法政大学は2019年3月、単位互換学生交流に関する協定を締結した。これは、お互いの大学で講義やゼミを履修し、取得した単位を自分の大学に持ち帰ることができる、いわば「国内留学」ともいえる仕組みで、本学は2020年度に第一期生6名を派遣した。そのうち3名の法学部生、法律学科4年・佐藤宏太さん、政治学科4年・尾西陽菜子さん、法律学科4年・河野潤さんと、学生をサポートした職員の辻見祐太さん（現：経営学部主任）にお話を聞いた。

法学部法律学科4年　佐藤　宏太（さとう　こうた）　派遣先：法政大学法律学科

法学部政治学科4年　尾西　陽菜子（おにし　ひなこ）　派遣先：法政大学国際政治学科

法学部法律学科4年　河野　潤（こうの　じゅん）　派遣先：法政大学法律学科

知的好奇心から未知への挑戦

―志望動機を教えてください。

佐藤　環境を変えて新しいことに挑戦してみたかったのと、偏差値の高い法政大学で自分の力を試してみたかったからです。

河野　犯罪学や刑法に興味があり、専門知識を増やしたり、多角的な物の見方を発見し、視野を広げたいと思ったことが動機です。

尾西　国際政治や海外事情に関心があり、法政大学には幅広く、より細かい専門科目がたくさんあるので、自分の〈学びたい〉という思いが叶えられると思いました。

―派遣までの流れを教えてください。

辻見　まず希望者を募り、学内選考を経て派遣学生を決めます。内定は12月の下旬、法政大学から通知がきたのは2月頃です。年明けにはガイダンスを行い、学生と教員と私で時間割を考えていきました。この科目を取ると本学ではこういう単位になるとか単位の読み替えがスムーズになるのではないかというように、時間をかけて検討しました。

―法政大学への授業料はかかりませんが、生活費等はどうのように工面しましたか？

佐藤　生活費は親に毎月仕送りをしてもらいました。家賃は北海学園からもらっていた給付型の奨学金で賄い、教科書代や交際費などは、アルバイトで貯めたお金と、都内でアルバイトをしながら工面しました。

河野　生活費は、このプログラムを知った時からアルバイトを2つ掛け持ちして準備しました。学生寮に入居したので、家電等は備え付けのものがあり、引越にはそれほど費用はかかりませんでした。

尾西　親から仕送りをしてもらい、お小遣いは1、2年生の時にアルバイトで貯めていたお金を充てました。

豊富な科目で視野を広げる

―どのような授業を履修しましたか。何単位取得できましたか？

佐藤　法律系の授業や他学部の授業も履修し、履修した40単位全て取得することができました。コロナでほとんどの授業やゼミはリモートでした。大学へは数回調べものをしに図書館に行ったくらいです。

河野　労働基準法や消費者法、相続法や犯罪学といった専門科目を取り、授業は全てリモートです。36単位履修し、全て取得しました。

尾西　単位は上限の44単位取りました。特に面白かったのは国際協力についての授業です。先生がJICA職員で、現役の人の考え方を聞くことができました。

―コロナ禍で大学に行く機会は少なかったと思いますが課外活動には参加しましたか？友人はできましたか？

佐藤　ゼミや他学部の授業が少人数制の顔出しのグループワークだったので、そこで友人ができました。先生がもんじゃ焼き会を開いてくれて交流もできました。

河野　オンラインで法政大学の将棋サークルに参加していました。ZOOMを使って差し手の検討などをして仲良くなりました。

尾西　学外の活動ですが、海外で活動しているNGOの方がオンラインでイベントを開催していたので参加しました。

―法政大学の魅力を教えてください。

佐藤　授業科目がいろいろあるので、興味に合わせて好きなものを取れることです。それから、いろいろな人がいること。台湾で会社を辞めてきた台湾人や韓国で兵役を経験した人、元Jリーガーなどたくさんの人たちのお話が聞けました。

河野　大学キャンパスが広いのは魅力です。授業では、消費者法の先生が消費者契約法専門調査会の委員で、法律が改正することになった経緯や、現在の犯罪状況など、面白い話をたくさん聞くことができました。

尾西　やはり科目の豊富さです。先生方も、JICAの職員や内閣府で働いている人などいろんな人がいるので、その立場でしかわからないリアルな話しが聞けました。

辻見　皆さんとは頻繁に連絡を取り合って、大学の授業は順調か、困っていることはないかなど、近況を聞いていました。一番に思ったのは、皆さん非常に真面目で積極的だなと。逆に私の方が刺激を受けていました。このような学生さんたちと関われたことに感謝しています。

新しい環境で学力・行動力向上

―成長できたと感じたことはありますか。

佐藤　行動力がついたことと、書くスキルが向上したこと。毎日自炊をしていたので料理も上達しました。

河野　犯罪学の講義を通して警察白書などの資料によく目を通すようになりました。1の資料から10の情報を引き出すように、情報を推定する力が身に付いたと思っています。

尾西　興味があることを調べるようになりました。自分で動かないといけないことが多くて行動力がついたと思います。初めて道外で一人暮らしを経験して、どこでも暮らしていけるなと自信になりました。

―研修を終えて一言。

佐藤　改めて周りの存在の大きさに気付いたり、違う環境で生活したことで成長できました。辻見さんには、困ったときにメールや電話で相談にのってもらい、丁寧に対応していただきました。挑戦しようか迷っている人は、ぜひ願書を提出してみてください。

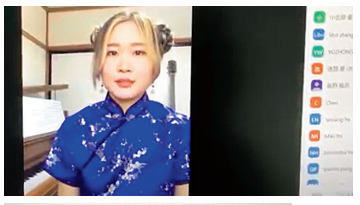
河野　コロナ禍で、授業開始直前に開講科目が変更されたり大変でしたが、様々な面で成長できました。コロナ禍でなかったらキャンパス生活はもっと楽しいと思いますので、ぜひ挑戦してみてください。東京は霞ヶ関がありますので、府省に興味がある人は見学をオススメします。

尾西　コロナ禍も含めて、札幌じゃないところで生活できた経験はすごく良かったです。新しいことや新しい環境に飛び込んでみたいという思いが叶えられました。

辻見　皆さんとは頻繁に連絡を取り合って、大学の授業は順調か、困っていることはないかなど、近況を聞いていました。一番に思ったのは、皆さん非常に真面目で積極的だなと。逆に私の方が刺激を受けていました。このような学生さんたちと関われたことに感謝しています。

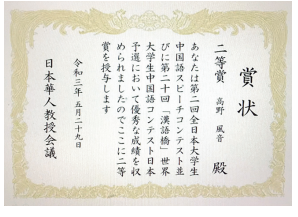
人文学部3年　高野 風音

全日本大学生中国語スピーチコンテスト 並びに 「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト 日本予選 北海道ブロック　2位



5月29日、第二回全日本大学生中国語スピーチコンテスト並びに第二十回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選（北海道ブロック）がオンライン形式で開催されました。

人文学部日本文化学科3年の高野風音さんは2位を受賞して、北海道代表として7月に開催された、全国決勝大会に参加しました。


賞状

二等賞　高野　風音　殿

あなたは第二回全日本大学生中国語スピーチコンテスト並びに第二十回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選において優秀な成績を収められましたのでここに二等賞を授与します

令和三年　五月二十九日

日本華人教授会議

▼高野さんのコメント

前回、3位を受賞し、今回は2位を受賞することができました。前回とは違い、今回はスピーチだけでなく中国芸能披露、中国クイズもあったため、勉強量が増え、その分、中国語だけでなく文化も学ぶことができました。また、大会で同じ目標の友だちにも出会え、本当に良い機会でした。全国大会もベストを尽くし、楽しむことができました。

硬式野球部

春季リーグ戦 優勝

本学硬式野球部は5月1日から14日に行われた2021年度春季リーグ戦に出場。4勝1分という好成績で優勝し、6月7日から13日に明治神宮野球場・東京ドームで開催された第70回全日本大学野球選手権記念大会に30年ぶり20回目の出場を果たした。

ゴルフ部

繁富杯争奪学生ゴルフ選手権　優勝
夏季信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦選考会　準優勝

6月26日、27日に開催された、令和3年度繁富杯争奪学生ゴルフ選手権において、ゴルフ部の岩沢暁冴さん（法学部1年）が優勝。10月に開催される「朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権」への出場権を獲得した。

また、7月10日、11日に開催された、令和3年度夏季信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦選考会において、本学ゴルフ部が準優勝を果たした。

私の学び

経済学部経済学科4年

李（り）浩銘（こうめい）

「子供の頃から、日本の特撮やアニメが好きで、日本に興味を持つようになりました」

2016年に中国から来日した李さんは、東京の語学学校へ2年間通った。その後、「日本で一番自然が豊かなところで暮らしてみたい」という思いから、北海道の深川にある短期大学へ進学、3年生の時に本学へ編入した。本学を選んだ理由は、留学生が少ない環境の中で日本人の友だちをたくさんつくるため。

「編入と同時にコロナ禍になってしまい、学校へ行く機会が少ないのが残念ですが、学生寮の留学生たちと交流したり、SNSを使ってコミュニケーションをとっています」

自然豊かな北海道で日本の友だちをつくりたい

経済学科の財政・金融コースで経済メカニズムや金融の仕組み、役割について学んでいく中で「会計に関する知識の重要性を感じた」と話す。卒業後は、大学院に進学してより専門的に学びを深める予定だ。

菊田悠准教授のゼミでは、学生それぞれが関心のある社会学的テーマの文献を取り上げ、その内容を議論している。李さんのテーマは、中国社会と日本社会の比較。

「事前に討論のレジュメを作って発表します。議論するには、自分がしっかり理解しなければなりません。社会学はとにかく幅広いので知識が広がります」

また、日本で暮らし、日本の社会問題についても肌で感じている。「コロナ禍以前に稚内や帯広、富良野などいろいろな地域へ旅行しました。東京と比べて人が少なかったり、お年寄りが多いなど、地方の過疎化や少子高齢化の深刻さを実感しました」

将来は、「いずれ母国へ帰るけど、今は日本で学びながら、もっといろんな経験を積みたいです」

入試 INFORMATION

オープンキャンパス2021

昨年度は、コロナウイルス感染の影響により、対面のオープンキャンパスは実施することはできませんでした。

今年度の第1回目（6月20日）のオープンキャンパスも、WEB上での開催となり、実数で2,274名の視聴がありました。

第2回目（7月18日）は、来場人数制限を設け、学部ごとに受付時間が重ならないように工夫を凝らし、感染防止対策を講じた上、2年ぶりに対面で実施をしました。事前申込制で1,356名の申込みがあり、抽選を行った結果、当日は604名の方に来学していただきました。豊平キャンパスでは、「大学説明会」「入試説明会」「各学部特別イベント」「文系学部はじめの一歩」「保護者のためのお金と就職講座」「教員による個別相談会」「パネル展示」「動画上映ブース」「生協スタッフによる一人暮らし相談会」を実施しました。

来場する方々の様子

学内ツアーの様子

工学部「ショールーム」の様子

山鼻キャンパスでは、「学科説明会」「学内探検体験ツアー」「ショールーム」を実施し、豊平～山鼻のキャンパス間は、シャトルバスを運行しました。さらに、当日参加できなかった方にも大学を知ってもらえるよう、翌週7月25日（日）に対面オープンキャンパス開催時にはWEB開催しました。撮影した動画、および第1回WEBオープンキャンパスで使用した動画を配信する方法を取り、実数で1,292名の視聴がありました。

こういった状況下ではありますが、入試課としてはより多くの方々に北海学園大学を知ってもらいたいと考えています。

ミニオープンキャンパス2021

ミニオープンキャンパスも2年ぶりの開催となりました。今年は道内6地区で実施をし、合わせて約250名の参加がありました。内容としては、「大学・入試制度の説明」「パネル展示」や各種資料コーナーの設置、そして各学部の教員には札幌で待機していただき、ZOOMで相談を受けるという方法で行いました。

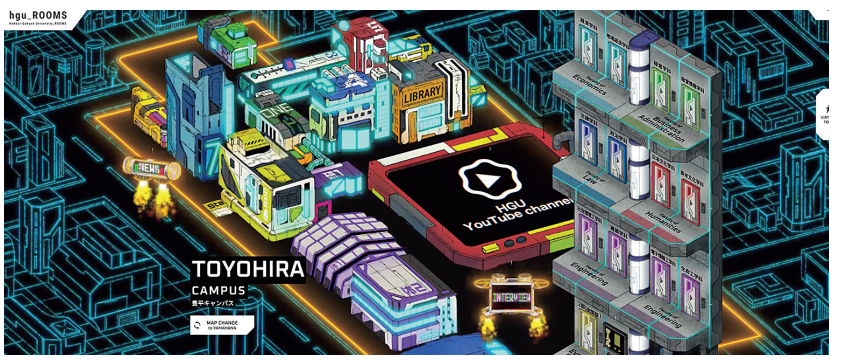
【開催会場】

7月31日（土）函館／函館マリーナ、8月1日（日）室蘭／室蘭市生涯学習センターきらん、8月7日（土）釧路／釧路市生涯学習センターまなぼっと幣舞、北見／北見芸術文化ホール、8月8日（日）帯広／とかちプラザ、旭川／北洋ビル

大学説明の様子

ZOOMによる個別相談の様子

受験生向けWEBサイト「hgu_ROOMS」
第61回 全北海道広告協会賞 入賞



7月1日に行われた贈呈式

本学の受験生向けサイト「hgu_ROOMS」が、第61回全北海道広告協会賞のインタラクティブ部門において優秀賞・制作者賞を受賞した。7月1日に贈呈式が行われ賞状とトロフィーが贈られた。

「hgu_ROOMS」は、作年6月にコロナウイルス感染防止のため、対面実施を中止したオープンキャンパスの代替企画として制作され、応募総数115点（他部門含む）の中から選ばれた。

全北海道広告協会賞は昭和36年から始まり今年で61回目。広告表現のレベルアップを通じて広告活動の活性化をはかることを目的とした賞である。

また、「hgu_ROOMS」は昨年11月に世界中のWEBデザインサイトを評価するCSS Design Awards及びCSS Winnerへ掲載され、昨年12月に発売されたWEB designing（月間雑誌）へも掲載されるなど、外部から高い評価を得ている。

CSS Design Awards 掲載ページ

CSS Winner 掲載ページ

キャリア支援センター INFORMATION／2021年就職活動状況

ガイダンスに必ず参加を

【求人数について】

厚生労働省が7月30日に発表した令和3年6月の有効求人倍率は1・13倍で、前月より0・04ポイントではありますが上昇しております。本学に届いている求人数もIT業界や福祉業界を中心に旺盛となっており、旅行・観光など新型コロナウイルスの影響が直撃した業界を除き採用意欲は高いままとなっております。

【就職活動状況】

今年度につきましても新型コロナウイルスの影響で、学生を集めてのガイダンス等の開催が出来ず、学生希望による対面での模擬面接や進路相談を除き、ガイダンスはオンラインで実施しております。

学生の活動状況としましては、新型コロナウイルス禍も2年目ということで、企業もWebを利用した会社説明会・面接などを積極的に活用しており、学生にとっては交通費の負担が伴わず且つ気軽に複数社へエントリーが出来る状況が続いております。

【今後】

キャリア支援センターでは、この後も学内合同企業説明会を9月2日（40社）、10月10日（参加企業・数未定）に企画しております。感染状況によってはオンラインでの開催となりますが、就職活動を継続している学生はこの機会を逃さず積極的にご参加ください。

3年生はこの時期であればインターンシップに既に参加している方も多いと思いますが、今後は大手企業を中心に通年採用の動きが強まることが予想されます。大学が開催するガイダンスには必ず参加し、業界研究や自己分析を進め、先手先手で活動を進めて欲しいと思います。

2021年度 合同企業説明会

場所　北海商科大学

第3回　9/2（木）　オンライン開催

第4回　10/10（日）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催になる場合があります。

2022年度卒（現3年生）　就職支援スケジュール

学年	月	学内行事	民間希望者 一般的な流れ	民間希望者 主な行事	公務員希望者 主な行事
1年生				キャリアガイダンス	
2年生	10月				2年生対象公務員ガイダンス
	3月	教務ガイダンス			
3年生	4月	授業開始		第1回 就職ガイダンス	第1回 公務員ガイダンス
				資格取得講座ガイダンス・講座開始	
				インターンシップガイダンス	
				GPS-Academic受検	
	5月				有料公務員講座開始（～4月）
				GPS-Academicフォローガイダンス	
				学園インターンシッププログラム（GIP）開始	
	6月		自己分析の開始・就職情報サイトへの登録	第2回 就職・公務員ガイダンス（就活ハンドブック配布、就職登録（ミナトコム））	
	7月	定期試験	インターンシップへの応募・準備		
	8月	夏期休業	夏季インターンシップ	学園インターンシッププログラム（GIP）派遣	
	9月		筆記試験対策開始	第3回 就職・公務員ガイダンス	
	10月	十月祭	業界・職種研究開始	就活講座開始	
	11月			第4 回就職ガイダンス・就職講演会	学内官庁説明会
				個人面談（全員）	
	12月		冬季インターンシップ・早期選考（～2月）	学内業界研究会、学内OB･OG訪問	
	1月	定期試験		面接トレーニング開始	
	2月	入学試験		第5回 就職ガイダンス	第4回 公務員ガイダンス
					公務員模擬試験開始（2月～4月）
	3月	教務ガイダンス	企業説明会･エントリースタート 選考試験スタート	学内合同企業説明会①	各種公務員試験願書配布開始
4年生	4月	授業開始	筆記試験・エントリーシート提出ピーク 内々定出し開始		公務員直前ガイダンス
	5月		面接・選考ピーク 内々定出しピーク（5月中旬～）		本試験（筆記）スタート
					面接・面接カード対策ガイダンス 模擬面接開始
	6月			第6回 就職ガイダンス	官庁別2次対策ガイダンス
				学内合同企業説明会②	
	7月	定期試験			
	8月	夏期休業		学内合同企業説明会③	
	9月	卒業研究本格化			
	10月	十月祭	内定式	就職活動状況調査・未内定学生への支援開始	
				特別就職ガイダンス（未内定者向け）	
				学内合同企業説明会④	
	11月				次年度に向けての公務員ガイダンス

第一期 準備期　第二期 エントリー期　第三期 選考期

※上記以外に、ミナトコムジュニア・公務員アドバイザーによる後輩への支援を実施
・ミナトコムジュニア…民間企業から内定を得た4年生による民間企業希望者向けアドバイザー
・公務員アドバイザー…公務員試験に合格した4年生による公務員希望者向けアドバイザー

2021年度 GIP（北海学園大学インターンシッププログラム）学生参加企業・官公庁一覧

SATO 社会保険労務士法人、SOC、エコモット、エヌ・ティ・ティ・システム開発、グローヴエンターテイメント、サッポロウエシマコーヒー、トヨタカローラ札幌、トヨタモビリティパーツ北海道統括支社、ニチレキ、ネッツトヨタたいせつ、ネッツトヨタ札幌、ハミューレ、ヤマチユナイテッド、I・TEC ソリューションズ、NTT 東日本ー北海道、アジェンダ、アドヴアンスト・ソフト・エンジニアリング、エル技術コンサルタント、コスモ設計、ジャパンテクニカルソフトウェア、スズキ自販北海道、つうけん、ドーコン、フォレステック、マイスターエンジニアリング、丸竹竹田組、構研エンジニアリング、高木組、砂子組、大林組札幌支店、内池建設、アシスト北海道、アセットプランニング、イーストン、エス・イー・ジャパン（CampusAdd）、エフエムくしろ、エムデジ、オカモト（オカモトグループ）、オリジナル HOTTa、クレタ、サカイ引越センター、サッポロドラッグストアー、ディスコ、はなまる、パル・コーポレーション、ビッグ、ホープス、ホットハウス、らくらホールディングス、ロゴスホーム、井上技研、東光ストア、北海道アルバイト情報社、北海道畜産公社、丸彦渡辺建設、岩倉建設、岩田地崎建設、宮坂建設工業、戸田建設、互信ホールディングス、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会、札幌アポロ、札幌トヨペット、三井住友海上火災保険、三建設備工業、社会福祉法人はるにれの里、社会福祉法人富良野あさひ郷、社労士法人ホームラン、出口秀樹税理士事務所、松岡満運輸、西江建設、川元建設、創和プロジェクト、大林道路、第一生命保険、中井聖建設、渡辺パイプ、東京コンピュータサービス、東洋建設北海道支店、藤原製麺、道路建設、道路工業、独立行政法人国際協力機構北海道センター（JICA 北海道）、日本ニューホランド、日本生命保険、日本都市設計、北海電気工事、北海道 NS ソリューションズ、北海道スバル、北海道通運、北海道土木設計、北海道日産自動車、北海道不二サッシ、北土建設、北雄ラッキー、明治安田生命保険、エイチ・ビー・エヌ、小樽市（議会事務局）、小樽市総合博物館、財務省北海道財務局、厚生労働省北海道労働局、国土交通省北海道開発局、札幌法務局、釧路市役所、遠軽町役場

※一覧は7/28現在のものです。新型コロナウイルスの影響により、インターンシップが中止になる場合もあります。

2021年度 WEB保護者懇談会

特設サイト公開期間・お問い合わせ受付期間

10/1（金）～10/29（金）

【開催内容】
就職支援説明会、各学部の動画などを公開、お問い合わせフォームより質問等の受付

対象：全学部・全学年

学長室訪問

▽5月24日　硬式野球部監督　島崎 圭介氏

▽7月5日　沼田町長　横山 茂氏、同町住民生活課長　嶋田 英樹氏

▽7月12日　株式会社小鍛治組代表取締役社長　小鍛治 洋介氏